QuarkXPressからInDesignへのコンバート

QuarkXPressデータを資産として活かすためには InDesignへコンバートすることが必須となります。 当社では豊富な実績で精度の高いコンバートデータをご提供いたします。

■QuarkXPressとInDesign

2000年代初頭まで、DTPレイアウトソフトのスタ ンダードとして確固たる地位を確立していたのは QuarkXPress(以下QX)でした。しかし、MacOS X やOpenTypeフォントへの対応の遅れが影響し、2007 年に発売されたInDesign(以下ID)CS3にその座を譲 ることになりました。IDの機能や操作性は多くのデ ザイナーから高評価を得て、その後も着実にユーザー を増やしていきました。QXもVer6.5よりMacOS X対 応となりましたが、現在までシェア奪回を果たすこと はできていません。

そのような状況ですが、実際にはQXのVer3.3Jや Ver4.1JといったOS9バージョンで制作された書籍デー タがまだ多く存在しています。再版や改訂新版などを 制作する際、これらのデータを使用したほうがコスト 面でメリットがあります。しかし、一部の大手印刷会 社ではOS9環境のQXデータの入稿受け付けをすでに 取りやめています。そのため、過去のQXデータを資 産として活かすためには、IDへのコンバートが必要 なのです。

■InDesignへのコンバート作業について

IDは発売当初からQXデータを開くことができました。これまでレイアウトソフト同士のデータ互換性というのは皆無だっため、これは画期的なことであり、 多くのQXデータがIDに作りかえられました。

しかし、IDでQXデータを開いても、組版エンジン の違いやオブジェクトの設定項目の差違などにより、 完全な再現ができるわけではありません。また、元の QXデータの作りが複雑であればあるほど、崩れる部 分が多くなります。

当社では再現精度の高いコンバートを可能にするた め、支援ツールを導入し、より効率的に作業を行って います。また、数多くの作業実績から不具合の発生し やすい箇所を洗い出し、コンバート作業マニュアルを 作成しております。

先に述べたとおり、元QXデータの状態によって作 業内容や必要な時間が変わってきます。そのため、作 業前に見本データをお預かりし検証させていただいて おります。詳しくは、担当営業までお気軽にお問い合 わせください。



Meisho-do Creative Report Vol.20

